

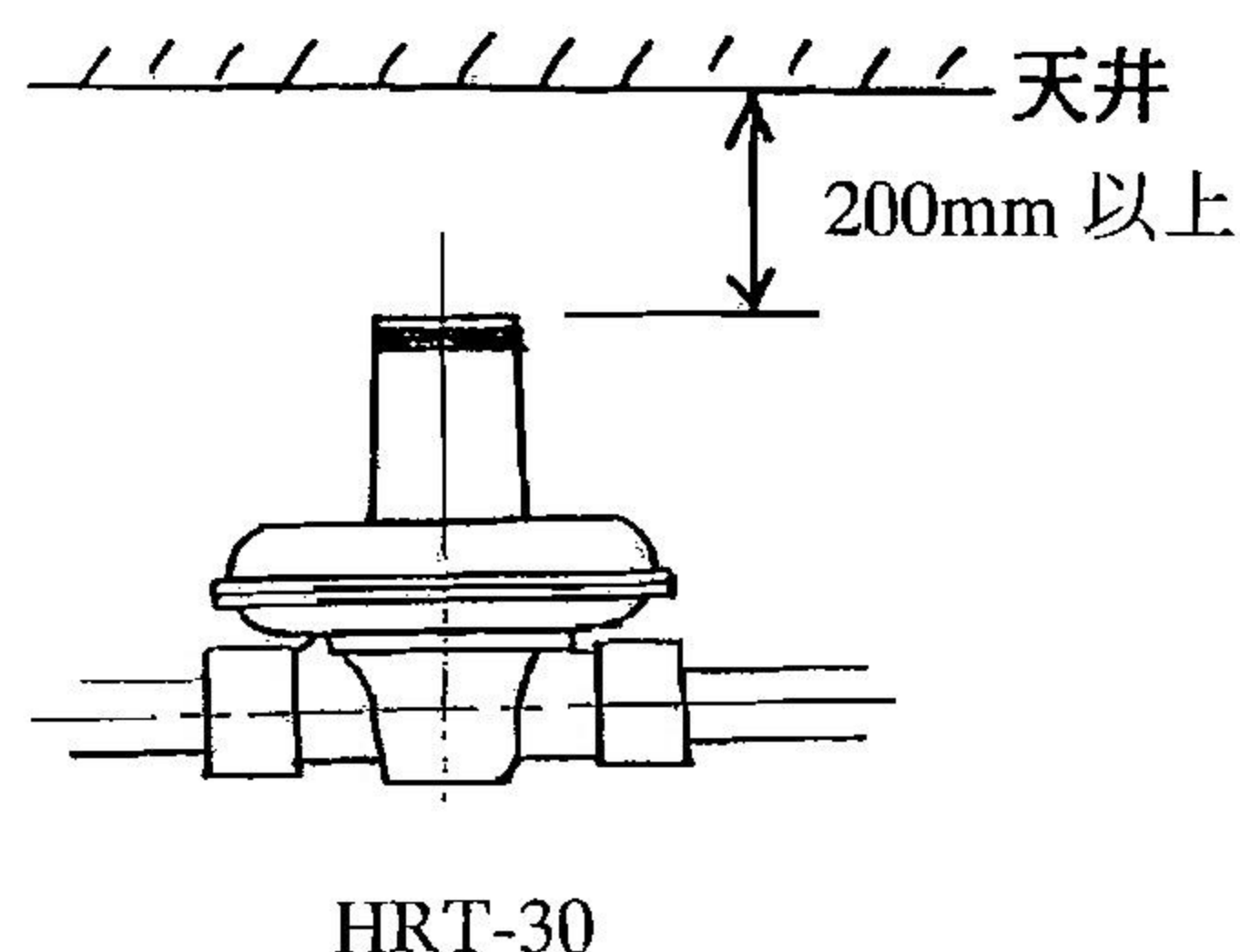
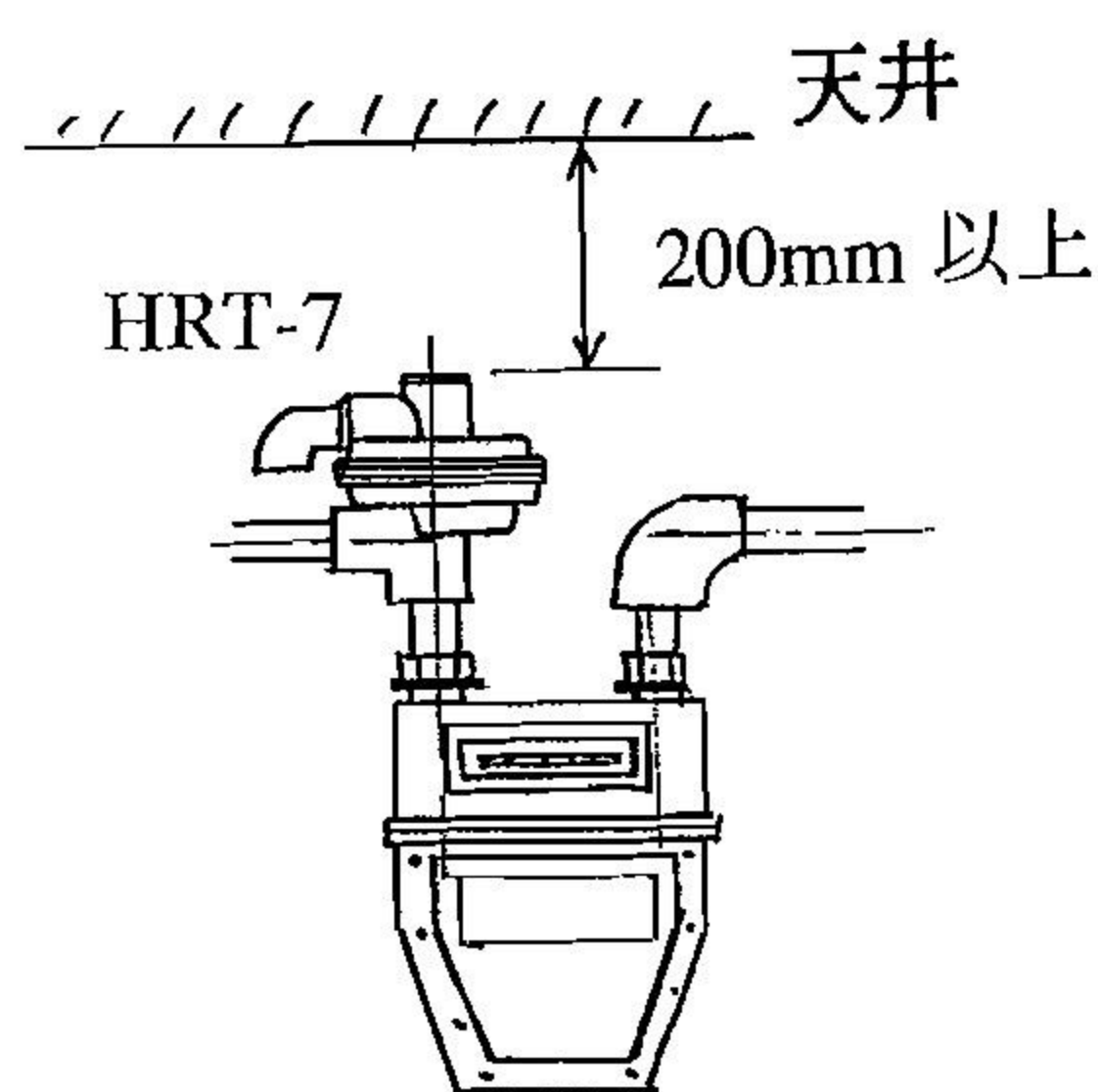
圧力安定器 取扱説明書

型式：HRT-7，HRT-30

愛知時計電機株式会社
ガス関連事業部

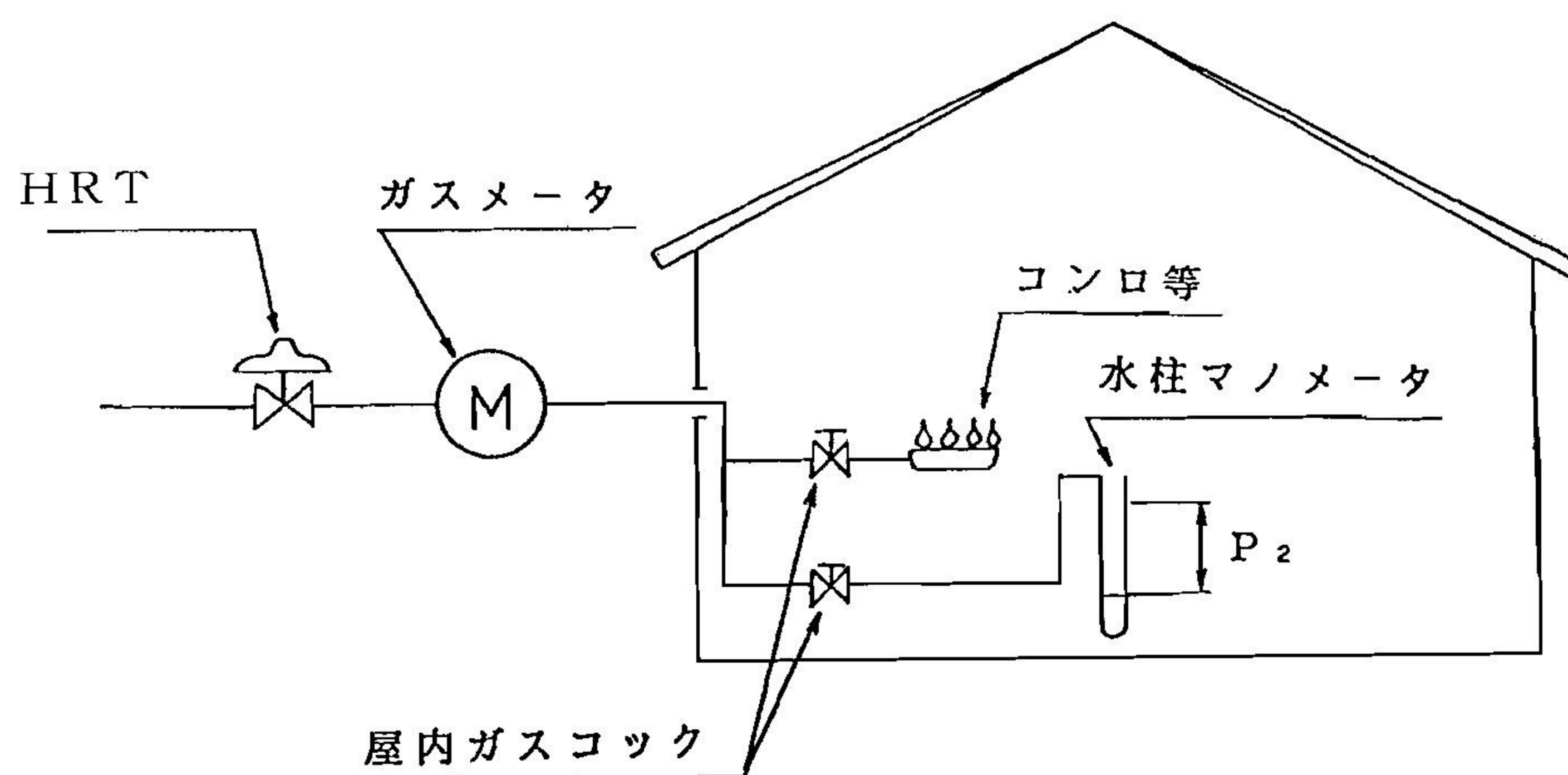
1. 設置時注意事項

- ・ 銘板に記入の型式記号と仕様を確認して下さい。
- ・ 配管の溶接及びねじ切り時に発生した異物が圧力安定器に入らないように、管内を十分に清掃して下さい。
- ・ ガスの流れの方向と圧力安定器の矢印の方向を合わせて下さい。
- ・ 圧力安定器のダイヤフラムが水平になるように取り付けて下さい。(目視で可)
- ・ 取付後の漏れ試験は、圧力安定器の一次側及び二次側から 10 kPa 以下の圧力で実施して下さい。
- ・ 圧力安定器の取付個所には保守点検に必要な空間を設けて下さい。



2. 維持管理

- ・ 性能点検



屋内ガスコックに水柱マンノメータ等を取り付け、圧力安定器の閉塞圧力及びガスが流れている時の圧力を確認して下さい。

確認後、何等かの事情により二次圧力を変更する場合は、下記要領で行って下さい。

1) 二次圧力を高くしたい場合

上部キャップを外して調整ナットを時計方向（下方に押込む）に廻す。
この際、二次圧力 P_2 を常に監視しながら所定の圧力になるようにする。

2) 二次圧力を低くしたい場合

上部キャップを外して調整ナットを反時計方向（上方に引上げる）に廻す。
この際、二次圧力 P_2 を常に監視しながら所定の圧力になるようにする。

〈注1〉

整圧スプリングの圧力調整範囲を越えた圧力調整をすると、圧力安定器は正常な作動が出来ません。
圧力調整範囲を確認の上実施して下さい。

〈注2〉

設定二次圧力とはガスが流れている時の圧力であります。
閉塞時（流量が0）に二次圧力の変更は行わないで下さい。

3. 保 管

圧力安定器及び取り替え部品は当社で梱包した状態で湿気が無く日光の当たらない場所に保管して下さい。

4. 異常時の処置

下表に示す現象が生じた場合は表中の原因が考えられます。必要に応じて対策の項に準じた処置を講じて下さい。

圧力安定器 異常時の処置

現 象	原 因	現場調査	対 策
二次圧力が 高過ぎる場合	1 整圧スプリングの 調整誤り	1 上部キャップを外 して整圧スプリン グを確認する。	1 調整ナットを反時 計方向に回し、整 圧スプリングを緩 める。又は適正な 力量の整圧スプリ ングと交換する。
	2 メインダイヤフラ ムの破損	2 上部ケースの大気 通気孔からガスが 漏れていないかを 調べる。	2 良品の整圧ユニッ トと交換する。
	3 バルブ、弁座への 異物の噛み込み	3 ガスが流れている 時の二次圧力及び 閉塞圧力を確認す る。	3 良品の整圧ユニッ トと交換する。 又はバルブ、弁座 部を清掃する。
二次圧力が 低過ぎる場合	1 整圧スプリングの 調整誤り	1 上部キャップを外 して整圧スプリン グを確認する。	1 調整ナットを時計 方向に回し、整圧 スプリングを圧縮 する。又は適正な 力量の整圧スプリ ングと交換する。
	2 バランスダイヤフ ラムの破損	2 閉塞圧力を確認す る。	2 良品の整圧ユニッ トと交換する。
	3 フィルターが目詰 まり	3 ガスが流れている 時と流れていない 時の二次圧力を確 認する。	3 良品の整圧ユニッ トと交換する。
	4 一次圧力が低過ぎ る	4 上部キャップを外 し、ダイヤフラム システムを下方に押 した時、二次圧力 が上昇するかを確 認する。	4 一次圧力低下の原 因を調べる。
感度が鈍い場合	1 可動部分の粘着	1 整圧ユニットの内 部を点検する。	1 良品の整圧ユニッ トと交換する。